

# 公益財団法人 太陽生命厚生財団

## 平成 29 年度 事業 報告

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

### I. 事業 概 況

本財団は、太陽生命保険の創業 90 周年を記念して、同社からの寄付金を基金とし、社会福祉の向上に寄与することを目的に、昭和 59 年 5 月に設立された「ひまわり厚生財団」を前身としております。

平成 21 年 12 月 1 日、内閣府より「公益財団法人」の認可を受け、「公益財団法人 太陽生命厚生財団」へ移行いたしました。

平成 29 年度の助成事業につきましては、従来通り、財団設立の趣旨・目的である社会福祉の向上に寄与するために、生活福祉分野で地域に根ざし地道な活動を行っているボランティアグループ等が実施する、在宅高齢者または在宅障がい者の福祉に関する事業へ継続して助成すると共に、高齢者医療・保健、生活習慣病または高齢者福祉等に関する研究・調査への助成を実施いたしました。

当年度の助成実績は、事業助成が 74 件・2,000 万円、研究助成が 6 件・290 万円、合計 80 件・2,290 万円でありました。

今後とも、太陽生命保険株式会社の協力を得ながら、わが国の社会福祉の更なる向上に寄与するための助成事業を行ってまいります。

### II. 事業に関する事項

事業助成ならびに研究助成は、平成 29 年度事業計画にしたがって、次のとおり実施いたしました。

なお、助成対象の選考にあたっては、本財団の選考委員会が、公募によって応募のあった助成対象候補の中から、厳正な審査を行っております。

## 1. 事業助成

ボランティアグループ等が、在宅高齢者または在宅障がい者の福祉に関する事業を行うために必要な費用について、次のとおり助成を行いました。

A. 在宅高齢者または在宅障がい者の自助・自立の意欲を引き出し、または鼓舞する等、その生活の支援に資する各種事業に対し、38件・958万円の助成を行いました。

- ① 視覚障がい者の一般雇用を広げるため、セミナー開催等により普及促進を図る事業
  - ・助成先：特定非営利活動法人 フィールドノーツ（北海道石狩郡）
  - ・助成額：420,000円
- ② 要介護者・障がい者の生きがいを創る、JYSダンス・ダンス・フェスティバル開催事業
  - ・助成先：特定非営利活動法人 心・体・食サポート協会  
(北海道札幌市)
  - ・助成額：500,000円
- ③ シニアの孤立防止を目的とした地域サロン情報誌「ちさろ」の発行
  - ・助成先：ワーカーズ コレクティブ プランズ EPO（北海道札幌市）
  - ・助成額：120,000円
- ④ 年齢や障がいの有無に関係なく誰でも利用・交流できるサロン活動
  - ・助成先：特定非営利活動法人 びえいくらしの助けあい  
(北海道上川郡)
  - ・助成額：200,000円
- ⑤ 障がい者の織った布を製品化し、ものづくりを通じて地域で交流する事業
  - ・助成先：特定非営利活動法人 エブリィ（東京都港区）
  - ・助成額：150,000円
- ⑥ 認知症高齢者を在宅で介護する人を対象とした負担軽減セミナー開催事業
  - ・助成先：高齢者住環境リフォームプロジェクト（東京都港区）
  - ・助成額：280,000円
- ⑦ 葛飾区内に住む方々を中心に後見制度の連続講座を開催し、理解を深めてもらう事業
  - ・助成先：NPO法人 かつしか市民後見センター（東京都葛飾区）
  - ・助成額：200,000円

- ⑧ 障がいのある方とない方が書道での多様な表現を楽しみ、リフレッシュする
- ・助成先：ゴザ屋・書道教室（東京都豊島区）
  - ・助成額：100,000円
- ⑨ 障がい者がつくる自主製品の開発支援と販売イベントを支援する事業
- ・助成先：GOEN enen PROJECT（東京都立川市）
  - ・助成額：420,000円
- ⑩ 発達障がい児者が森や畑での野外活動に挑戦しながら自立と就労を目指す事業
- ・助成先：にじの会 メンズクラブ（千葉県浦安市）
  - ・助成額：300,000円
- ⑪ 地域住民が、認知症を自分事として捉えることができるよう認知症当事者による講演会を開催する事業
- ・助成先：キャロットクラブ～認知症になっても安心して暮らそう会～  
（千葉県富里市）
  - ・助成額：200,000円
- ⑫ 障がい児者の自助・自立を応援する「ちゃれんじど料理教室」
- ・助成先：一般社団法人 地域公益推進機構（埼玉県和光市）
  - ・助成額：500,000円
- ⑬ サロン活動を実施していく中で障がい者の希望に応えるために各イベントを行いたい
- ・助成先：精神保健福祉ボランティアこすもす（静岡県富士市）
  - ・助成額：100,000円
- ⑭ 高齢者・障がい者施設を訪問し、花でセラピーとコミュニケーション
- ・助成先：NPO 法人 フラワーセラピー研究会・静岡（静岡県静岡市）
  - ・助成額：150,000円
- ⑮ 地域在宅高齢者の自立を支援するための、ふれあいサロン開設事業
- ・助成先：下湯日悠遊クラブ（静岡県島田市）
  - ・助成額：300,000円
- ⑯ 出前・認知症予防講座の教本作成
- ・助成先：特定非営利活動法人 認知症予防研究室（静岡県浜松市）
  - ・助成額：500,000円
- ⑰ 認知症カフェを通して、地域の課題を共有し課題に向けた取り組みを行なう活動

- ・助成先：いまふくソーシャルネット（大阪府大阪市）
  - ・助成額：300,000円
- ⑱ 無料の医療相談・まちかど保健室のつながりづくりモデル事業
- ・助成先：特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋ココルーム  
（大阪府大阪市）
  - ・助成額：200,000円
- ⑲ 柏原市における看護の視点で構築する避難所運営サポート事業
- ・助成先：全国訪問ボランティアナースの会 キャンナス柏原  
（大阪府柏原市）
  - ・助成額：100,000円
- ⑳ 生活の足として、高齢者の交流の場、活動範囲の拡大、生活の質の向上を実現させたい
- ・助成先：今熊野生活支援 あしの会（京都府京都市）
  - ・助成額：500,000円
- ㉑ 障がい者や高齢者が気軽に参加できるカメラサークル
- ・助成先：ヴァリアス・コネクションズ（京都府京都市）
  - ・助成額：200,000円
- ㉒ 精神障がい者のご家族の日中の居場所としてのサロンの運営
- ・助成先：精神障がい者支援ボランティアグループ フレンド  
（京都府八幡市）
  - ・助成額：140,000円
- ㉓ 高齢者や独居老人、障がいのある方に夕食用のあじわい弁当を配食する
- ・助成先：長岡あじわう会（京都府長岡京市）
  - ・助成額：100,000円
- ㉔ 幼児から高齢者まで楽しい一時を過ごして頂くことを目的の手作り音楽ボランティア
- ・助成先：マロン・フレンズ（奈良県奈良市）
  - ・助成額：120,000円
- ㉕ 余暇支援活動「ほっぷすてっぷ」（ダンス、音楽活動、陶芸、お菓子作り、クリスマス会等）
- ・助成先：特定非営利活動法人 つくし野会（奈良県北葛城郡）
  - ・助成額：200,000円
- ㉖ 「視覚障がい者外出応援事業」～社会参加を楽しもう～
- ・助成先：つれもて和歌山（和歌山県和歌山市）
  - ・助成額：130,000円

- ⑳ 地域の高齢化に向けて、トーンチャイムによる引きこもり対策と生きがいづくり
- ・助成先：本多聞ふれまちトーンチャイムクラブ（兵庫県神戸市）
  - ・助成額：120,000円
- ㉑ 生きづらさを感じている方や地域社会とのかかわりが希薄な人たちの居場所づくりと相談活動
- ・助成先：まんまる会（兵庫県西宮市）
  - ・助成額：180,000円
- ㉒ 聴覚障がい者訪問型見守り生活支援事業
- ・助成先：西部ろうあ仲間サロン会（鳥取県米子市）
  - ・助成額：500,000円
- ㉓ 重度障がい者の外出促進を支援する学生ボランティアの養成事業
- ・助成先：益田市身体障害者福祉協会 青壮年部（島根県益田市）
  - ・助成額：200,000円
- ㉔ 孤立防止と情報収集のために高齢聴覚障がい者のパソコン講座を行う事業
- ・助成先：みみっとの会（岡山県笠岡市）
  - ・助成額：300,000円
- ㉕ ソフトバレーボール大会は休止せず、障がいを持っている人の期待に応じて開催する
- ・助成先：精神保健ボランティア ほっとはあと（高知県高知市）
  - ・助成額：100,000円
- ㉖ 高次脳機能障がい者の社会参加支援マニュアル作成事業
- ・助成先：高次脳機能障がい者の会 エール（福岡県鞍手郡）
  - ・助成額：300,000円
- ㉗ 学びの広場（障がいの有無に関わらず、全ての子ども達と大人が共に学び合う活動
- ・助成先：すまいるん♪（福岡県福岡市）
  - ・助成額：300,000円
- ㉘ 高齢農業者が参加しやすい認知症カフェの実現のための世代間交流事業
- ・助成先：都城・三股農福連携協議会（宮崎県都城市）
  - ・助成額：400,000円
- ㉙ 障がい者の心の豊かさを目指し、ガラス細工や木工・竹細工に取り組み展示する事業

- ・助成先：おやゆび姫（鹿児島県鹿児島市）
- ・助成額：300,000円

⑳ 地域社会の互助強化を図るために大学生が実施する小学生向け認知症サポーター養成講座

- ・助成先：Orange Education Niigata Health and Welfare University Dementia Supporters Caravan Mate（新潟県新潟市）
- ・助成額：150,000円

㉑ 支援学校や支援クラス・病院・施設等を対象とした訪問音楽教室・コンサート

- ・助成先：NPO法人 ミューズの夢（宮城県仙台市）
- ・助成額：300,000円

B. 在宅高齢者または在宅障がい者の福祉に関する活動をするために必要な機器、機材、備品等を整備するための事業・費用に対し、36件・1,042万円の助成を行いました。

① 認知症カフェを通じて、共に理解を深める学びの場を開催するための備品等整備事業

- ・助成先：合同会社 びりーぶ（秋田県秋田市）
- ・助成額：230,000円

② 認知症カフェ・寸劇の効果的な運営に、プロジェクターと関連機器・機材を導入する事業

- ・助成先：認知症にやさしい地域支援の会（岩手県陸前高田市）
- ・助成額：250,000円

③ 聴覚障がい者と健聴者が同じ立場、権利の中で社会生活を送るための支援

- ・助成先：千歳要約筆記の会「やませみ」（北海道千歳市）
- ・助成額：500,000円

④ コミュニティーレストラン地域食堂に必要な備品を購入する事業

- ・助成先：特定非営利活動法人 わたぼうしの家（北海道釧路市）
- ・助成額：100,000円

⑤ 障がい児放課後活動等で活動内容の充実を図るためのパソコン等機器整備事業

- ・助成先：特定非営利活動法人 みんなの家（東京都大田区）
- ・助成額：480,000円

⑥ 視線入力ができるようになるための支援機器と訓練・学習用ソフトを購入する事業

- ・助成先：訪問大学「おおきなき」（東京都大田区）

- ・助成額：300,000円
- ⑦ パン工房ノアノア利用者の工賃向上のための施設設備の整備事業
  - ・助成先：社会福祉法人チャレンジャー支援機構 パン工房ノアノア  
(東京都小金井市)
  - ・助成額：200,000円
- ⑧ 工賃向上に向けた収益増加を目指した設備整備事業
  - ・助成先：特定非営利活動法人 ACT-R 就労継続支援 B 型事業所クラシ  
ノバ (神奈川県川崎市)
  - ・助成額：360,000円
- ⑨ 「市政だより ちば」の発行サイクルの変更に対応し、短時間で音訳作業を進めるためのパソコン等機器拡充事業
  - ・助成先：千葉市声の市政だより協力会 (千葉県千葉市)
  - ・助成額：220,000円
- ⑩ 在宅高齢者と音楽を通して交流を図るため、軽量で使い易い音響機器を購入する事業
  - ・助成先：花咲くおとめ座 (埼玉県鶴ヶ島市)
  - ・助成額：350,000円
- ⑪ ふれあいサロン活動で DVD を視聴するために大型 TV を設置する事業
  - ・助成先：ふれあいサロン牧西 (埼玉県本庄市)
  - ・助成額：110,000円
- ⑫ 視覚障がい者への情報提供のためのパソコン及び付属品
  - ・助成先：朗読ボランティア 須坂あかりの会 (長野県須坂市)
  - ・助成額：130,000円
- ⑬ 障がい者の社会参加支援施設の環境整備事業
  - ・助成先：特定非営利活動法人 バーチャル工房やまなし  
(山梨県南アルプス市)
  - ・助成額：490,000円
- ⑭ 大先輩と子供たちに楽しみをプレゼントー自分たちも来た道、行く道だからー
  - ・助成先：伊豆高原きらめき (静岡県伊東市)
  - ・助成額：100,000円
- ⑮ 姿勢保持椅子に座って音楽活動やアートを行い毎日の生活を豊かにしよう
  - ・助成先：特定非営利活動法人 いきもの語り (愛知県みよし市)
  - ・助成額：450,000円

- ⑩ 音訳の勉強会開催時に必要な機器の整備
- ・助成先：岩倉市音訳の会 あめんぼ（愛知県岩倉市）
  - ・助成額：240,000円
- ⑪ 視覚障がい者のために広報こまき等を音訳、CDを作成、貸出送付する活動
- ・助成先：声のボランティアかっこう（愛知県小牧市）
  - ・助成額：260,000円
- ⑫ 食楽支援（しょくらくしえん）～地域で暮らす人たちの食を楽に楽しくする支援～
- ・助成先：食楽きっちん（岐阜県羽鳥郡）
  - ・助成額：470,000円
- ⑬ 高齢者の社会参加や外出支援のための各種イベント活動で使用するテーブル等備品整備
- ・助成先：あくていふ紫香楽（滋賀県甲賀市）
  - ・助成額：140,000円
- ⑭ 知的障がい児（者）を対象とした余暇支援活動の備品整備
- ・助成先：障がい児（者）余暇支援活動プロデューサー ちーむBFS（大阪府松原市）
  - ・助成額：230,000円
- ⑮ 安全な食器での給食提供の為にメラミン食器を購入する事業
- ・助成先：社会福祉法人ユウの家 チャレンジハウスどんどん（大阪府堺市）
  - ・助成額：500,000円
- ⑯ 視覚障がい者、高齢者、一人暮らしの老人の方々へ情報提供活動のための機器整備
- ・助成先：井出町社会福祉協議会朗読ボランティアサークル ふれあい（京都府綴喜郡）
  - ・助成額：170,000円
- ⑰ 高齢者・疾病者等の住環境整備ボランティア活動に必要な工具等整備事業
- ・助成先：生き育き和束（京都府相楽郡）
  - ・助成額：220,000円
- ⑱ 地域高齢者、在宅高齢者が近所知り合いに声を掛け合い日々楽しく生活する健康な身体、心を作る
- ・助成先：元気サークルおーい（京都府亀岡市）
  - ・助成額：150,000円



- ②⑤ 聴覚・視覚・肢体不自由の障がいを持つ子どもと家族のための音楽療法  
 ・助成先：和歌山ミュージック・ケア研究会（和歌山県和歌山市）  
 ・助成額：160,000円
- ②⑥ 高次脳機能障がい者のためにグループリハビリとしてトールペインティングをする活動  
 ・助成先：特定非営利活動法人 宝塚高次脳機能障害者共生の会  
 （兵庫県宝塚市）  
 ・助成額：210,000円
- ②⑦ 音訳活動に必要な機器を整備、導入する事業  
 ・助成先：明朗会（兵庫県明石市）  
 ・助成額：290,000円
- ②⑧ お菓子作りのミキサー購入  
 ・助成先：特定非営利活動法人 四万十なかまの会  
 （高知県四万十市）  
 ・助成額：290,000円
- ②⑨ 障がい者へのIT支援・社会情報支援事業（就労・生活の質の向上を図る）  
 ・助成先：特定非営利活動法人 今山を守る会（福岡県福岡市）  
 ・助成額：480,000円
- ③⑩ 熊本地震により失ったコミュニティカフェの備品整備  
 ・助成先：NPO法人 奏気流（熊本県上益城郡）  
 ・助成額：450,000円
- ③⑪ 機器を活用し、障がい者の作業を増やすことで障がい者雇用を増やし賃金アップを目指す  
 ・助成先：NPO法人 夢・さぼーと（熊本県宇城市）  
 ・助成額：420,000円
- ③⑫ 児童発達支援・放課後等デイサービスの利用者のためにセラピーマット  
 ・三角マットを購入する事業  
 ・助成先：特定非営利活動法人 tali（鹿児島県始良市）  
 ・助成額：370,000円
- ③⑬ 職種開拓、雇用拡大に向けてクリーニング事業用備品の整備事業  
 ・助成先：特定非営利活動法人小さな種・こころ（福井県鯖江市）  
 ・助成額：340,000円
- ③⑭ 聴覚に障がいを持つ健康な高齢者の作業所で必要な機器を整備する事業  
 ・助成先：NPO法人 大きな手小さな手（富山県富山市）

・助成額：230,000円

③⑤ 視覚障がい者や高齢者を対象とした音声訳のため音声訳パソコン一式を購入する事業

・助成先：燕音声訳 「七色の会」 (新潟県燕市)

・助成額：130,000円

③⑥ 「結いカフェ以心伝心(認知症カフェ)」の開催

・助成先：特定非営利活動法人 フロムトゥ (宮城県仙台市)

・助成額：400,000円

◇事業助成額合計(74件) 20,000,000円

## 2. 研究助成

高齢者保健・医療、生活習慣病または高齢者福祉に関する研究・調査に対して6件・290万円の助成を行いました。

① 高齢者における心不全発症予防のための生活習慣の解明

・助成先：東京大学医学部附属病院検査部 (東京都文京区)

・助成額：500,000円

② 地域福祉活動を展開する福祉サービス実践に関する考察—組織マネジメントの視点から—

・助成先：東京福祉大学 国際交流センター (東京都北区)

・助成額：500,000円

③ 地域在住85歳以上の超高齢者のサクセスフル・エイジングの生物学的な基盤

・助成先：慶應義塾大学医学部 精神神経科学教室 (東京都新宿区)

・助成額：500,000円

④ 訪問介護現場における他職種連携に基づいた終末期介護の円滑な支援方法に関する研究

・助成先：尚美学園大学総合政策学部総合政策学科 (埼玉県川越市)

・助成額：500,000円

⑤ 高齢がん終末期療養者の在宅緩和ケアにおける介護職の困難

・助成先：岐阜聖徳学園大学看護学部 (岐阜県岐阜市)

・助成額：400,000円

⑥ 独居高齢者への医療提供における「身寄り問題」の課題の解明

・助成先：特定非営利活動法人 つながる鹿児島 (鹿児島県鹿児島市)

・助成額：500,000円

◇研究助成額合計（6件）2,900,000円

□助成額総額（80件）22,900,000円

### Ⅲ. 役員に関する事項

#### 1. 役員等の異動

(1) 理事・監事 異動ありません

(2) 評議員

・評議員6名の任期満了に伴い、次期（平成29年6月14日開催の定時評議員会終結の時から平成32事業年度に関する定時評議員会終結の時までの評議員に、福山義照氏、橋本泰子氏、河幹夫氏、天野久美子氏、儀賀信利氏、根釜健氏の6名全員が再任されました。

(3) 選考委員 異動ありません

#### 2. 役員等の氏名

平成29年度末（平成30年3月31日）現在の役員等の氏名は次のとおりであります。

(1) 理事

理事長	横山輝紀
常務理事	森恭弘
理事	末次彬
理事	羽田勝征
理事	土川泰信
理事	横田和彦
理事	河村博江

以上7名

(2) 監事 御正安雄  
下屋敷縁

以上2名

(3) 評議員 福山嘉照  
橋本泰子  
河幹夫  
天野久美子  
和田敏明  
島村糸子

儀 賀 信 利  
根 釜 健

以 上 8 名

(4) 選考委員

委員長 河 幹 夫  
委員 福 山 嘉 照  
委員 羽 田 勝 征  
委員 横 田 和 彦  
委員 儀 賀 信 利  
委員 森 恭 弘

以 上 6 名

IV. 会議に関する事項

次のとおり開催いたしました。

1. 理事会

第41回 理事会 平成29年5月29日 開催

第42回 理事会 平成29年8月 8日 書面開催

第43回 理事会 平成29年8月30日 開催

第44回 理事会 平成30年2月21日 開催

2. 評議員会

第23回 評議員会 平成29年6月14日 開催

第24回 評議員会 平成29年8月30日 開催

第25回 評議員会 平成30年3月 9日 開催

3. 選考委員会

第 9回 選考委員会 平成29年8月 9日 開催

V. 事務局に関する事項

構成人員は次のとおりであります。

事務局長 贅田 豊

事務職員 2名 (太陽生命からの出向1名、派遣スタッフ1名)

## VI. 行政庁に関する事項

内閣府へ次のとおり報告・届出をいたしました。

1. 平成29年6月27日付 「平成29年度事業報告等に係る提出」
2. 平成30年3月20日付 「平成30年度事業計画等に係る提出」

## VII. 登記に関する事項

法務局へ次のとおり登記いたしました。

1. 平成29年6月20日付 「評議員の登記」

以上

## 貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	3,597,325	5,774,947	△ 2,177,622
投資有価証券未収利息	1,551,091	1,269,213	281,878
流動資産合計	5,148,416	7,044,160	△ 1,895,744
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	1,304,091,914	1,168,660,070	135,431,844
基本財産定期預金	22,411,747	157,411,747	△ 135,000,000
基本財産合計	1,326,503,661	1,326,071,817	431,844
(2) その他固定資産			
什器備品	38,500	57,750	△ 19,250
敷金・保証金	1,140,840	1,140,840	0
その他固定資産合計	1,179,340	1,198,590	△ 19,250
固定資産合計	1,327,683,001	1,327,270,407	412,594
資産合計	1,332,831,417	1,334,314,567	△ 1,483,150
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄附金	1,326,503,661	1,326,071,817	431,844
指定正味財産合計	1,326,503,661	1,326,071,817	431,844
(うち基本財産への充当額)	( 1,326,503,661 )	( 1,326,071,817 )	( 431,844 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産			
一般正味財産	6,327,756	8,242,750	△ 1,914,994
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	1,332,831,417	1,334,314,567	△ 1,483,150
負債及び正味財産合計	1,332,831,417	1,334,314,567	△ 1,483,150

## 貸借対照表内訳表

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	△ 4,409,079	8,006,404		3,597,325
投資有価証券未収利息	1,085,763	465,328		1,551,091
流動資産合計	△ 3,323,316	8,471,732		5,148,416
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
投資有価証券	912,864,338	391,227,576		1,304,091,914
基本財産定期預金	15,688,222	6,723,525		22,411,747
基本財産合計	928,552,560	397,951,101		1,326,503,661
(2) その他固定資産				
什器備品	0	38,500		38,500
敷金・保証金	0	1,140,840		1,140,840
その他固定資産合計	0	1,179,340		1,179,340
固定資産合計	928,552,560	399,130,441		1,327,683,001
資産合計	925,229,244	407,602,173		1,332,831,417
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	0	0		0
流動負債合計	0	0		0
2. 固定負債				
固定負債合計	0	0		0
負債合計	0	0		0
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄附金	928,552,560	397,951,101		1,326,503,661
指定正味財産合計	928,552,560	397,951,101		1,326,503,661
(うち基本財産への充当額)	( 928,552,560 )	( 397,951,101 )		( 1,326,503,661 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )		( 0 )
2. 一般正味財産				
一般正味財産	△ 3,323,316	9,651,072		6,327,756
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )		( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )		( 0 )
正味財産合計	925,229,244	407,602,173		1,332,831,417
負債及び正味財産合計	925,229,244	407,602,173		1,332,831,417

# 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息振替額	18,491,581	20,091,658	△ 1,600,077
受取寄附金			
受取寄附金	14,000,000	14,000,000	0
雑収益			
受取利息	118	113	5
雑収益	311,801	283,941	27,860
経常収益計	32,803,500	34,375,712	△ 1,572,212
(2) 経常費用			
事業費			
支払事業助成金	20,000,000	19,390,000	610,000
支払研究助成金	2,900,000	2,450,000	450,000
給与手当	2,262,000	3,016,000	△ 754,000
委託費	739,908	656,370	83,538
諸謝金	260,000	260,000	0
光熱水料費	38,100	38,100	0
賃借料	868,210	869,290	△ 1,080
雑費	448,269	494,985	△ 46,716
減価償却費	9,625	9,625	0
管理費			
役員報酬	1,245,000	1,490,000	△ 245,000
給料手当	2,262,000	3,016,000	△ 754,000
委託費	739,908	656,370	83,538
福利厚生費	0	50,000	△ 50,000
会議費	1,084,427	1,269,104	△ 184,677
旅費交通費	17,456	39,682	△ 22,226
通信運搬費	102,347	108,593	△ 6,246
消耗品費	44,839	88,981	△ 44,142
印刷製本費	168,711	109,470	59,241
光熱水料費	38,100	38,100	0
賃借料	868,223	869,303	△ 1,080
租税公課	8,930	13,300	△ 4,370
支払負担金	228,440	228,440	0
雑費	374,376	493,714	△ 119,338
減価償却費	9,625	9,625	0
経常費用計	34,718,494	35,665,052	△ 946,558
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,914,994	△ 1,289,340	△ 625,654
基本財産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,914,994	△ 1,289,340	△ 625,654



科 目	当年度	前年度	増減
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1)経常外収益			
基本財産評価益			
基本財産評価益	0	0	0
固定資産売却益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
固定資産売却損			
固定資産売却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,914,994	△ 1,289,340	△ 625,654
一般正味財産期首残高	8,242,750	9,532,090	△ 1,289,340
一般正味財産期末残高	6,327,756	8,242,750	△ 1,914,994
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取寄附金			
受取寄附金	0	0	0
基本財産評価益			
基本財産評価益	0	0	0
基本財産受取利息			
有価証券利息収入	18,923,425	20,529,900	△ 1,606,475
定期預金満期等収入	0	0	0
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 18,491,581	△ 20,091,658	1,600,077
当期指定正味財産増減額	431,844	438,242	△ 6,398
指定正味財産期首残高	1,326,071,817	1,325,633,575	438,242
指定正味財産期末残高	1,326,503,661	1,326,071,817	431,844
<b>III 正味財産期末残高</b>	1,332,831,417	1,334,314,567	△ 1,483,150

# 正味財産増減計算書内訳表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	助成事業			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息振替額	12,944,106	5,547,475		18,491,581
受取寄附金				
受取寄附金	12,000,000	2,000,000		14,000,000
雑収益				
受取利息	118	0		118
雑収益	311,801	0		311,801
経常収益計	25,256,025	7,547,475		32,803,500
(2) 経常費用				
事業費				
支払事業助成金	20,000,000			20,000,000
支払研究助成金	2,900,000			2,900,000
給与手当	2,262,000			2,262,000
委託費	739,908			739,908
諸謝金	260,000			260,000
光熱水料費	38,100			38,100
賃借料	868,210			868,210
雑費	448,269			448,269
減価償却費	9,625			9,625
管理費				
役員報酬		1,245,000		1,245,000
給料手当		2,262,000		2,262,000
委託費		739,908		739,908
福利厚生費		0		0
会議費		1,084,427		1,084,427
旅費交通費		17,456		17,456
通信運搬費		102,347		102,347
消耗品費		44,839		44,839
印刷製本費		168,711		168,711
光熱水料費		38,100		38,100
賃借料		868,223		868,223
租税公課		8,930		8,930
支払負担金		228,440		228,440
雑費		374,376		374,376
減価償却費		9,625		9,625
経常費用計	27,526,112	7,192,382		34,718,494
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,270,087	355,093		△ 1,914,994
基本財産評価損益等	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0		0
評価損益等計	0	0		0
当期経常増減額	△ 2,270,087	355,093		△ 1,914,994

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	助成事業			
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1)経常外収益				
基本財産評価益				
基本財産評価益	0	0		0
固定資産売却益				
固定資産売却益	0	0		0
経常外収益計	0	0		0
(2)経常外費用				
固定資産売却損				
固定資産売却損	0	0		0
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 2,270,087	355,093		△ 1,914,994
一般正味財産期首残高	△ 1,053,229	9,295,979		8,242,750
一般正味財産期末残高	△ 3,323,316	9,651,072		6,327,756
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取寄附金				
受取寄附金	0	0		0
基本財産評価益				
基本財産評価益	0	0		0
基本財産受取利息				
有価証券利息収入	13,246,396	5,677,029		18,923,425
定期預金満期等収入	0	0		0
一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	△ 12,944,106	△ 5,547,475		△ 18,491,581
当期指定正味財産増減額	302,290	129,554		431,844
指定正味財産期首残高	928,250,270	397,821,547		1,326,071,817
指定正味財産期末残高	928,552,560	397,951,101		1,326,503,661
<b>III 正味財産期末残高</b>	925,229,244	407,602,173		1,332,831,417

## 附属明細書

### 1. 基本財産の明細

基本財産の明細については、「財務諸表の注記」に記載のとおりです。

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

平成21年度から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)を採用しています。

- (1) 有価証券の評価基準及び方法  
満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっています。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
棚卸資産はありません。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
什器備品……定額法によっています。
- (4) 引当金の計上基準  
引当金の計上はありません。
- (5) リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
- (6) 消費税等の会計処理  
消費税の会計処理は、税込み方式によっています。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,168,660,070	150,431,844	15,000,000	1,304,091,914
基本財産定期預金	157,411,747	17,411,747	152,411,747	22,411,747
小 計	1,326,071,817	167,843,591	167,411,747	1,326,503,661
特定資産				
退職給付引当資産	0	0	0	0
減価償却引当資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	1,326,071,817	167,843,591	167,411,747	1,326,503,661

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,304,091,914	(1,304,091,914)		
基本財産定期預金	22,411,747	(22,411,747)		
小 計	1,326,503,661	(1,326,503,661)		
特定資産				
退職給付引当資産	0	0		
減価償却引当資産	0	0		
小 計	0	0		
合 計	1,326,503,661	(1,326,503,661)		

### 4. 担保に供している資産

担保に供している資産はありません。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	115,500	77,000	38,500
合 計	115,500	77,000	38,500

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権、貸倒引当金の計上はありません。

7. 保証債務等の偶発債務

保証債務等の計上はありません。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
第10回 利付国債(30年)	63,513,101	72,915,635	9,402,534
第150回 利付国債(20年)	99,548,541	116,801,500	17,252,959
埼玉県第16回20年公募公債	80,000,000	88,866,480	8,866,480
静岡県第24回20年公募公債	50,000,000	50,792,300	792,300
第109回 利付国債(20年)	198,254,666	239,553,400	41,298,734
第139回 利付国債(20年)	99,305,942	119,102,200	19,796,258
第143回 利付国債(20年)	193,469,698	232,966,305	39,496,607
千葉県平成20年度第1回公募公債	19,999,966	20,017,480	17,514
第323回大阪府公募公債(10年)	100,000,000	101,491,300	1,491,300
神奈川県第27回20年公募公債(野村)	100,000,000	114,180,400	14,180,400
神奈川県第27回20年公募公債(日興)	100,000,000	114,200,000	14,200,000
第325回日本高速道路保有・債務返済機構債	100,000,000	98,960,000	△ 1,040,000
第21回東京都住宅供給公社債	100,000,000	113,130,000	13,130,000
合 計	1,304,091,914	1,482,977,000	178,885,086

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額	18,491,581
合 計	18,491,581

10. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はありません。

# 財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許保管	運転資金として	94,552
預金	普通預金 三井住友銀行東京中央支店	運転資金として	3,502,773
投資有価証券未収利息	投資有価証券未収利息	運転資金として	1,551,091
流動資産合計			5,148,416
(固定資産)			
基本財産	投資有価証券	第10回 利付国債(30年) 第150回 利付国債(20年) 埼玉県第16回20年公募公債 静岡県第24回20年公募公債 第109回 利付国債(20年) 第139回 利付国債(20年) 第143回 利付国債(20年) 千葉県平成20年度第1回公募公債 第323回大阪府公募公債(10年) 神奈川県第27回20年公募公債(野村) 神奈川県第27回20年公募公債(日興) 第325回日本高速道路保有・債務返済機構債 第21回東京都住宅供給公社債	共用財産であり、うち70%は公益目的 保有財産として公益目的事業の用に供 し、30%は管理運営の用に供している。
	定期預金	三井住友銀行東京中央支店	共用財産であり、うち70%は公益目的 保有財産として公益目的事業の用に供 し、30%は管理運営の用に供している。
その他固定 資産	什器備品 敷金	事務室インターフォン 事務室	38,500 事務局として使用
固定資産合計			1,327,683,001
資産合計			1,332,831,417
(流動負債)			
	未払金		0
流動負債合計			0
(固定負債)			
	長期借入金		0
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			1,332,831,417

以上のとおり、公益財団法人 太陽生命厚生財団の平成 29 年度事業報告、  
貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内  
訳表、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録について報告します。

平成 30 年 6 月 13 日

公益財団法人 太陽生命厚生財団

理 事 長            横 山 輝 紀



## 監査報告書

私たち監事は、平成29年度の事業報告書、計算書類、これらの付属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

- (1) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事及び使用人等から執行状況について聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。
- (2) 会計監査について、帳簿および関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討しました。

### 2. 監査意見

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその付属明細書ならびに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

平成30年5月17日

公益財団法人 太陽生命厚生財団

監事 御正安 碩

監事 下屋敷 縁



公益財団法人 太陽生命厚生財団  
平成30年度 収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息振替額	18,410,294	18,103,000	307,294
受取寄附金			
受取寄附金	17,000,000	14,000,000	3,000,000
雑収益			
受取利息	200	200	0
経常収益計	35,410,494	32,103,200	3,307,294
(2) 経常費用			
事業費			
支払事業助成金	20,000,000	20,000,000	0
支払研究助成金	3,000,000	3,000,000	0
給料手当	2,262,000	3,016,000	△ 754,000
委託費	720,000	720,000	0
諸謝金	300,000	300,000	0
減価償却費	10,000	10,000	0
光熱水料費	50,000	50,000	0
賃借料	1,000,000	1,000,000	0
雑費	550,000	550,000	0
事業費支出小計	27,892,000	28,646,000	△ 754,000
管理費			
役員報酬	1,650,000	1,650,000	0
給料手当	2,262,000	3,016,000	△ 754,000
委託費	720,000	720,000	0
福利厚生費	10,000	10,000	0
会議費	1,400,000	1,400,000	0
旅費交通費	70,000	90,000	△ 20,000
通信運搬費	130,000	130,000	0
減価償却費	10,000	10,000	0
消耗品費	90,000	90,000	0
印刷製本費	100,000	130,000	△ 30,000
光熱水料費	50,000	50,000	0
賃借料	1,000,000	1,000,000	0
租税公課	30,000	10,000	20,000
支払負担金	260,000	260,000	0
雑費	440,000	440,000	0
管理費支出小計	8,222,000	9,006,000	△ 784,000
経常費用計	36,114,000	37,652,000	△ 1,538,000
当期経常増減額	△ 703,506	△ 5,548,800	4,845,294

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
予備費	1,000,000	1,000,000	0
経常外費用計	1,000,000	1,000,000	0
当期経常外増減額	△ 1,000,000	△ 1,000,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,703,506	△ 6,548,800	4,845,294
一般正味財産期首残高	5,833,799	7,964,157	△ 2,130,358
一般正味財産期末残高	4,130,293	1,415,357	2,714,936
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金			
受取寄附金	0	0	
基本財産評価益			
基本財産評価益	0	0	
基本財産受取利息			
有価証券利息収入	18,841,680	18,534,844	306,836
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 18,464,990	△ 18,103,000	△ 361,990
当期指定正味財産増加額	431,386	431,844	△ 458
指定正味財産期首残高	1,326,503,661	1,326,071,817	431,844
指定正味財産期末残高	1,326,935,047	1,326,503,661	431,386
III 正味財産期末残高	1,331,065,340	1,327,919,018	3,146,322

(注) 当期指定正味財産増加額(円)は、償却原価法による有価証券の評価増加額

公益財団法人 太陽生命厚生財団  
平成 30年度 収支予算の事業別区分経理の内訳表  
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	助成事業			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息振替額	12,887,206	5,523,088		18,410,294
受取寄附金				
受取寄附金	14,000,000	3,000,000		17,000,000
雑収益				
受取利息	200	0		200
雑収益	0	0		
経常収益計	26,887,406	8,523,088		35,410,494
(2) 経常費用				
事業費				
支払事業助成金	20,000,000			20,000,000
支払研究助成金	3,000,000			3,000,000
給料手当	2,262,000			2,262,000
委託費	720,000			720,000
諸謝金	300,000			300,000
減価償却費	10,000			10,000
光熱水料費	50,000			50,000
賃借料	1,000,000			1,000,000
雑費	550,000			550,000
事業費支出小計	27,892,000			27,892,000
管理費				
役員報酬		1,650,000		1,650,000
給料手当		2,262,000		2,262,000
委託費		720,000		720,000
福利厚生費		10,000		10,000
会議費		1,400,000		1,400,000
旅費交通費		70,000		70,000
通信運搬費		130,000		130,000
減価償却費		10,000		10,000
消耗品費		90,000		90,000
印刷製本費		100,000		100,000
光熱水料費		50,000		50,000
賃借料		1,000,000		1,000,000
租税公課		30,000		30,000
支払負担金		260,000		260,000
雑費		440,000		440,000
管理費支出小計		8,222,000		8,222,000
経常費用計	27,892,000	8,222,000		36,114,000
当期経常増減額	△ 1,004,594	301,088		△ 703,506

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取 引消去	合計
	助成事業			
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2)経常外費用				
予備費	500,000	500,000		1,000,000
経常外費用計	500,000	500,000		1,000,000
当期経常外増減額	△ 500,000	△ 500,000		△ 1,000,000
当期一般正味財産増減額	△ 1,504,594	△ 198,912		△ 1,703,506
一般正味財産期首残高	△ 3,586,861	9,420,660		5,833,799
一般正味財産期末残高	△ 5,091,455	9,221,748		4,130,293
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取寄附金				
受取寄附金	0	0		0
基本財産評価益				
基本財産評価益	0	0		0
基本財産受取利息				
有価証券利息収入				
一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	△ 12,887,206	△ 5,523,088		△ 18,410,294
当期指定正味財産増加額	301,970	129,416		431,386
指定正味財産期首残高	928,552,561	397,951,100		1,326,503,661
指定正味財産期末残高	928,854,531	398,080,516		1,326,935,047
<b>III 正味財産期末残高</b>	923,763,076	407,302,264		1,331,065,340

公益財団法人 太陽生命厚生財団  
平成30年度 事業計画書  
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

当財団は、設立以来、高齢者福祉および障がい者福祉に関する事業や研究への助成を事業の中核として実施してまいりました。

平成30年度も、財団設立の趣旨・目的である社会福祉の向上に寄与するために、生活福祉分野で地域に根ざし、地道な活動を行っているボランティアグループ等が実施する事業への助成を継続して実施すると共に、高齢者福祉等に関する研究・調査への助成活動を実施したいと考えます。

助成事業計画の詳細は下記のとおりです。

記

I. 事業助成

○ボランティアグループ等が行う事業への助成

民間ボランティアグループ等が、在宅高齢者または在宅障がい者等のために福祉活動や文化活動を行うために必要な費用または機器、機材、備品等を整備するための費用に対し助成する。

(在宅高齢者・在宅障がい者等の家族のための福祉活動や文化活動を含みます。また、社会福祉法人等が行う在宅高齢者等への地域公益事業・生活支援事業(例、生活物品入手支援・配送等)を含みます。)

対象となる事業・費用

A. 在宅高齢者または在宅障がい者等の自助・自立の意欲を引き出し、または鼓舞する等その生活の支援に資する事業・費用

B. 在宅高齢者または在宅障がい者等の福祉に関する活動をするために必要な機器、機材、備品等を整備する事業・費用

(認知症に関わる福祉・支援活動等の事業・費用を含みます。(例、認知症カフェ等))

助成額 1件 10万円～50万円 計 2,000万円

II. 研究助成

○社会福祉法人または民間機関等が実施する高齢者保健・医療、生活習慣病または高齢者福祉に関する研究または調査に対し助成する。

助成額 1件 30万円～50万円 計 300万円

III. 事業・研究助成金額

合計額 2,300万円  
以上

平成30年6月14日  
公益財団法人  
太陽生命厚生財団

「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について（公表）

当法人は、国家公務員法等の規定に関し、国家公務員であった者が法人の役員として再就職する場合には事前に政府に届出をおこなうことが必要な「国と特に密接な関係がある法人」に該当しませんので、その旨公表いたします。

[本件連絡先]

電 話：03-6674-1217

FAX：03-6674-1217

(参考) 国家公務員法等の規定

- 国家公務員法（昭和22年法律第120号）第106条の24第1項第4号
- 独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第54条の2第1項において準用する国家公務員法第106条の24第1項第4号
- 職員の退職管理に関する政令（平成20年政令第389号）第32条
- 特定独立行政法人の役員退職管理に関する政令（平成20年政令第390号）第18条
- 職員の退職管理に関する内閣官房令（平成20年内閣府令第83号）第9条
- 特定独立行政法人の役員退職管理に関する内閣官房令（平成20年内閣府令第84号）第8条